今号の主な記事

2面　特集「子育てを応援します」
3面　情報ボックス
4面　中央町さくらプラザフェスティバル、青少年社会貢献表彰、情報ボックス、休日・土曜日・平日夜間などの診療・調剤案内

No.2054

めぐろ区報

令和2年（2020年）2/15
毎月5・15・25日発行

目黒区ホームページ

人口と世帯
住民記録者数…… 281,462人
（うち外国人数 …… 9,711人）
男…… 133,121人
女…… 148,341人
世帯数…… 158,168世帯
2.2.1現在の住民記録による

発行/目黒区　編集/企画経営部広報課　〒153-8573 目黒区上目黒2-19-15 ☎3715-1111(代) FAX5722-8674(広報課)　目黒区ホームページ https://www.city.meguro.tokyo.jp/

特集

子育てを応援します

産後ケア事業を利用した赤穂さん母子と助産師（右）

妊娠期から子育て期まで、切れ目なく支援します

子どもはかわいい。でも、妊娠・出産・子育ては大変なこともたくさんあります。区では、妊娠期から子育て期まで、ステージに合わせた切れ目のない支援を行っています。今号は、区の支援事業を体験した子育て中の区民のかたに、感想を交えながら紹介していただきました。妊娠・子育て中の皆さん、不安を一人で抱え込まず、まずは気軽にご相談ください。

区内で子育て中の前口さん

2歳の長女がおり、現在2人目を妊娠中です。昨年4月から始まった産後ケア事業と子育てふれあいひろばを紹介します。
これからお母さんになるかたにも、ぜひ利用してほしいです。

2面の特集もご覧ください

主な支援事業

妊娠期

ゆりかご・めぐろ（出産・子育て応援事業）

保健師等が面接で、妊娠中の過ごし方や、出産・子育ての準備などについて、話を伺います。面接を受けたかたには、育児用品のカタログギフトをお渡しします。

産後

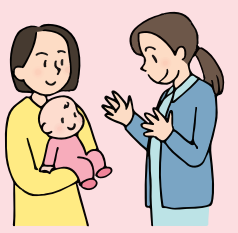
赤ちゃん訪問（妊産婦・新生児の訪問指導）

赤ちゃんが生まれたすべてのお宅へ、保健師・助産師が訪問。赤ちゃんの体重測定のほか、授乳や育児・お母さんの体調などを相談できます。

問保健予防課保健相談係（☎5722－9504）、碑文谷保健センター保健相談係（☎3711－6447）

産後ケア事業

産後のお母さんと赤ちゃんのケアや、授乳・育児方法などをアドバイスします。自宅に助産師が訪ねる訪問型と、施設に泊まる宿泊型があり、利用料が必要です。



問碑文谷保健センター保健相談係（☎3711－6447）

子育て期

子育てふれあいひろば

保護者と子どもが安心して過ごせるように配慮された場所です。おもちゃや絵本、遊具などがあり、子どもを遊ばせながら保護者が相談できます。

問子育て支援課利用者支援係（☎5722－9596）、相談専用（☎3715－2641）

メールマガジン配信中！　緊急情報、生活に役立つトピックス、講座や区議会の日程などをお知らせしています。ホームページ・携帯サイトから利用登録できます